

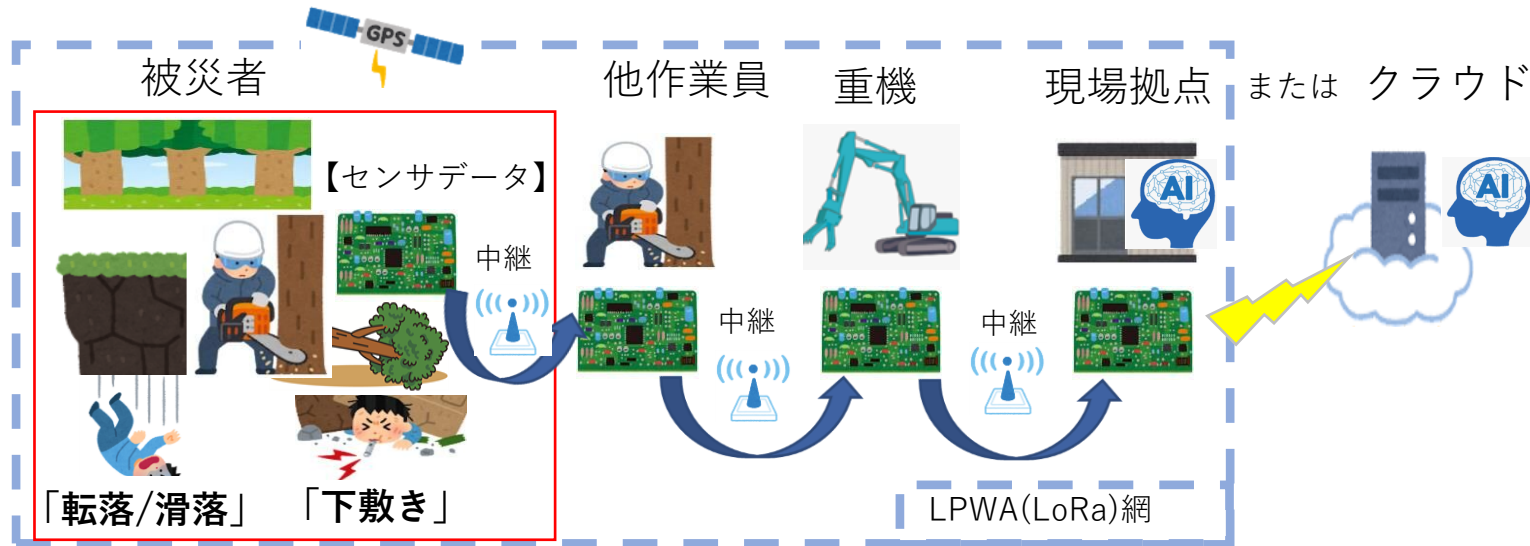
■解決課題

労働災害発生検知 AI | モデル組み込んだシステムを利用する事で、被災労働者の迅速な救護連絡を実現する。

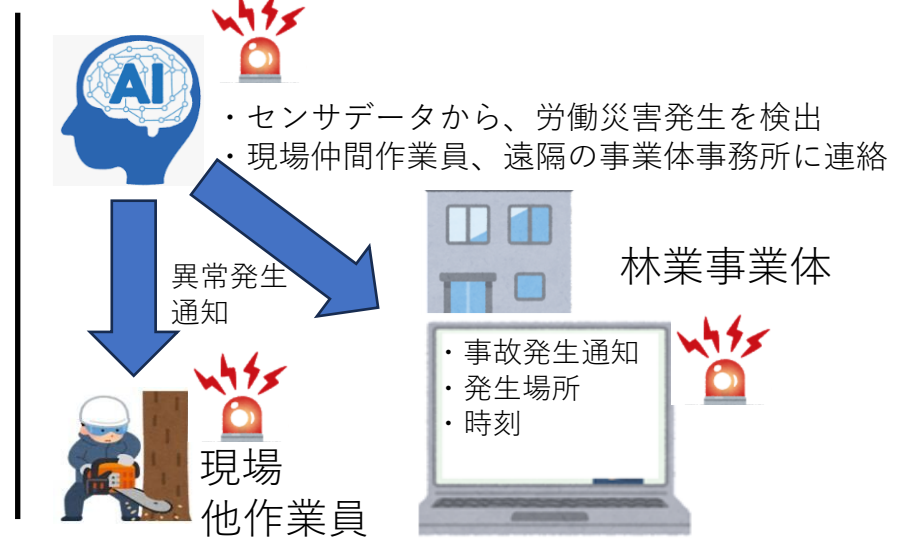
■解決手法

センサおよび無線通信を有する機器を作業員が携帯する事で、センサデータ収集する。
 センサデータを元にした労働災害発生検知 AI | モデル構築は、大分高専（木本研究室）の助言・指導の元アーネットで行う。
 構築した AI | モデルを、エッジ機器へ組み込むまたは、クラウド上に配置し、労働災害検知⇒迅速な連絡を補助する。

【構想図】 被災者が、一人作業で助けが呼べない、他仲間へ声が届かない、通報機器のSOSが操作できない時・・・



AIで、迅速な被災者発見、救護連絡体制を実施する



<p>事業実施主体 (コンソーシアム構成員)</p>	<p>ar+net</p> <ul style="list-style-type: none"> IoT機器開発経験と知見 機器を設計開発 開発機器の提供/メンテナンス AIモデル開発 	<p>日田市森林組合 日田郡森林組合 玖珠郡森林組合 大分西部地域林業結衣(ゆい)の会</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業作業経験と知見 機器検証現場を提供 現場重機類の操作 開発機器の評価 	<p>独立行政法人国立高等専門学校機構 大分工業高等専門学校 木本研究室</p> <ul style="list-style-type: none"> AIモデル生成知見提供 	<p>連携 大分県 大分県西部振興局 農山村振興部</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害事例情報提供 西部関係団体調整 現地検証支援
---------------------------------------	---	---	---	---